

認知症ケアパス ～認知症の進行に合わせて受けられるサービスの流れ～

●認知症は少しずつ進行し、症状が変化していきます。家族や周囲が認知症を理解し、進行に合わせて上手に対応していくことが大事です。（※個人差はあります）

認知症の度合い	自立	認知症の疑い	認知症初期	認知症中期	認知症後期	
	日常生活は自立している		日常生活で見守りが必要	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要	
本人の様子	記憶 見当識	<input type="checkbox"/> 何かヒントがあれば思い出せる。	<input type="checkbox"/> 頭に霧がかかったような感じがする。 <input type="checkbox"/> 約束を忘れる。	<input type="checkbox"/> 日や曜日がわからなくなる。 <input type="checkbox"/> 自分の年齢が正確にわからなくなる。	<input type="checkbox"/> 月や季節がわからなくなる。 <input type="checkbox"/> 遠方に外出した時に道に迷う。 <input type="checkbox"/> 昼夜逆転がみられる。	<input type="checkbox"/> 家族のことがわからなくなる。 <input type="checkbox"/> 近所で道に迷う。 <input type="checkbox"/> 自宅のトイレの場所がわからない。
	会話	<input type="checkbox"/> 「あれ」「それ」など代名詞が多くなる。	<input type="checkbox"/> 同じことを何度も言ったり聞いたりする。	<input type="checkbox"/> 事実と違う話をしたり、話を取り繕う。	<input type="checkbox"/> 妄想が多くなる。	<input type="checkbox"/> 話しかけた言葉がうまく理解できない。
	感情・意欲		<input type="checkbox"/> 不安や焦りで怒りっぽくなる。 <input type="checkbox"/> やる気がでない。	<input type="checkbox"/> 考え方に柔軟性が無くなり疑い深くなる。	<input type="checkbox"/> 突然怒り出したり、泣いたりする。	<input type="checkbox"/> 意欲がなく、自分から何もしようとしなない。
	日常生活		<input type="checkbox"/> 置き忘れ・しまい忘れが目立つようになり、探し物が増える。	<input type="checkbox"/> 注意力が散漫になって、作業や仕事にミスが出る。 <input type="checkbox"/> バスや電車で新しい所へ行けなくなる。	<input type="checkbox"/> 家電やリモコンの操作ができない。 <input type="checkbox"/> 電話対応が難しくなる。 <input type="checkbox"/> ゴミを出す曜日を間違える。 <input type="checkbox"/> 排泄の失敗が増える。	<input type="checkbox"/> 寝たきりとなり、身の回りの事全般に介護が必要。 <input type="checkbox"/> 自分の物と人の物の区別がつかない。 <input type="checkbox"/> 日中も寝ている時間が多くなる。
	買い物 食事調理	<input type="checkbox"/> 友人と外食し、楽しみがある。 <input type="checkbox"/> 体によい食事を工夫して作ることができる。 <input type="checkbox"/> 料理を楽しんで作ることができる。	<input type="checkbox"/> 同じ料理が多くなる。	<input type="checkbox"/> 調味料を間違える。 <input type="checkbox"/> 鍋をこがすようになる。 <input type="checkbox"/> 買い物の時にお札でしか買えない。	<input type="checkbox"/> 同じ食材ばかりを買ってくる。 <input type="checkbox"/> 冷蔵庫に賞味期限切れの物や腐った物があふれている。 <input type="checkbox"/> 食べたことを忘れる。	<input type="checkbox"/> 食べ物ではない物を口に入れる。（異食） <input type="checkbox"/> 食事の飲み込みが悪くなり食事介助が必要。
	入浴・着 替え	<input type="checkbox"/> おしゃれを楽しむことができる。		<input type="checkbox"/> 身なりを気にしなくなる。	<input type="checkbox"/> 季節に合った洋服を選べなくなる。 <input type="checkbox"/> 入浴を拒否したり、体がうまく洗えない。	<input type="checkbox"/> 服をうまく着ることが出来ない。
	お金や服薬の管理 趣味など	<input type="checkbox"/> 趣味や好きな事を楽しむことができる。	<input type="checkbox"/> たまたま薬の飲み忘れがある。 <input type="checkbox"/> 金銭管理や書類作成はできている。 <input type="checkbox"/> 趣味や好きなことが楽しくなくなる。	<input type="checkbox"/> 薬の飲み忘れがあり、声かけが必要。 <input type="checkbox"/> 金銭管理や書類作成が面倒になる。 <input type="checkbox"/> 趣味をやめてしまう。	<input type="checkbox"/> 薬や金銭管理、書類作成ができないので手助けが必要。	
本人・家族への アドバイス	楽しみの活動を持ちましょう。地域の活動に参加し、つながりを大切にしましょう。生活リズムを整えましょう。認知症サポーター養成講座などで、認知症に関する正しい知識や理解を深めましょう。	一人で不安になる時期です。悩みを抱え込まず、身近な人の理解が大事です。家族や周りの人がおかしかったら、かかりつけ医か、お住まいの地域包括支援センターに相談しましょう。	本人の不安に共感しながら、できない部分についてさりげなく手助けしてあげましょう。今後の生活設計について（例えば介護や医療についての希望や金銭管理など）本人と話し合っておきましょう。	家事や着替えや入浴など身の回りの事で支援が必要となります。介護保険サービスの利用をしましょう。本人のプライドを尊重し、できない事があっても責めたり、否定しないようにしましょう。介護を抱え込まず、適度にストレス発散をしましょう。	常時介護が必要な状況になります。本人が体調不良を訴えることが、難しくなるので、体調の変化に気をつけましょう。介護している家族についても体調管理に注意しましょう。定期的な医療への相談や、介護保険サービスを使うようにしましょう。	
相談先	市役所・地域包括支援センター・在宅介護支援センター・ケアマネジャー・認知症地域支援推進員・認知症初期集中支援チーム					
医療等	認知症疾患医療センター・認知症専門医・かかりつけ医 訪問看護・訪問歯科					
予防	認知症予防教室・介護予防教室					
集う場所	みんなのカフェ・認知症予防教室・介護予防教室・老人福祉センター（サークル活動等）					
介護	自宅から通う	デイサービス・デイケア・認知症対応型デイサービス・小規模多機能型居宅介護				
	自宅に来てもらう	訪問介護・訪問リハビリ・訪問看護 訪問入浴				
住まい	自宅で暮らす	住宅改修費の支給・福祉用具の貸与、購入 紙おむつの給付・寝具洗濯乾燥サービス				
	住まいを整える	軽費老人ホーム サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム				
	短期間入所する	短期入所介護（ショートステイ）				
	施設に入所する	介護老人保健施設・介護療養型医療施設・特別養護老人ホーム				
権利を守る	日常生活自立支援事業（権利擁護事業） 成年後見制度					
ひとり暮らし	緊急通報装置、福祉電話の設置・火災警報器、電磁調理器の給付					
安否確認・見守り	民生児童委員・災害時要援護者支援制度（要配慮者の情報提供）・安心カード、緊急連絡カードの配布 認知症高齢者等SOSネットワーク（警察・市・地域包括支援センター・介護保険事業者等）・GPS貸与					